

第7回福井県障がい者スポーツ大会実施要綱

1 目的

スポーツを通して障がい者の自立と社会参加の促進に寄与するとともに、障がい者に対する社会意識の啓発、障がい者スポーツの一層の発展を図ることを目的とする。

2 大会名

第7回福井県障がい者スポーツ大会

3 主催

福井県

4 共催

福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市

5 主管

しあわせ福井スポーツ協会

6 後援

(福) 福井県社会福祉協議会、福井県市長会、福井県町村会

7 開催期日および会場

開催期日	会式/競技	会場
平成29年5月28日(日)	総合開会式 オープン競技、デモスポ	福井県営体育館 他
平成29年6月4日(日)	陸上競技	福井県営陸上競技場
	水泳	福井県営水泳場
	アーチェリー	福井県立アーチェリーセンター
	一般卓球	鯖江市総合体育館(第1競技場)
	サウンドテーブルテニス	鯖江市総合体育館(第2競技場)
	フライングディスク	三国運動公園陸上競技場 (雨天: 三国体育館)
	オープン競技(ゲートボール)	すこやかドーム
平成29年6月11日(日)	ボウリング	スポーツプラザWAVE40
平成29年5月21日(日)	バレーボール	福井市清水中学校体育館

※ 雨天の場合

陸上競技: 6月10日(土)に延期し、福井県営陸上競技場において実施

フライングディスク: 会場を三国体育館に変更し、アキュラシーのみ実施

8 大会参加予定選手数
約1,300人

9 総合開会式会場
福井県営体育館

10 競技種目および障がい区分

- (1) 競技は、平成29年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則に準じて行うものとし、各競技における実施種目および障がい、年齢、男女区分は別表のとおりとする。
- (2) オープン競技（卓球バレー、車いすテニス、ゲートボール、玉入れ・パン食い競争）デモスポ（スティックリング、スポーツ吹矢、ペタンク、3B体操）については、男女別・年齢別・種目数の制限は行わない。
- (3) 参加できる競技数は、1人1競技とする。参加できる種目数は、下記のとおりとする。ただし、オープン競技、デモスポは除く。

【種目別出場制限】

陸上競技	1人2種目まで（リレーを除く）
水泳	1人2種目まで
アーチェリー（身体）	1人2種目まで
一般卓球	1人1種目
サウンドテーブルテニス（視覚）	1人1種目
フライングディスク	1人2種目まで
ボウリング	1人1種目

11 選手参加資格

出場選手は次の全ての条件を満たす者とする。ただし、オープン競技、デモスポについては、別に定める。

- (1) 平成29年4月1日現在で13歳以上である身体障がい者、知的障がい者および精神障がい者
- (2) 身体障がい者は、身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条の規定により、身体障害者手帳の交付を受けた者
知的障がい者は、療育手帳制度要綱（昭和48年9月27日付け厚生事務次官通知）に定める療育手帳の交付を受けた者。あるいは、その交付の対象者に準ずる障がいのある者
精神障がい者は、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条により、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者。あるいは、その交付の対象者に準ずる障がいのある者
- (3) 福井県内に在住（施設入所を含む）、在勤、在学している者。
なお、大会に出場することにより、身体状況の悪化が予測される者は出場できない。

12 競技規則

平成29年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定）に準じる。そのほか、競技運営上必要な事項は、別途定める。

13 参加申込

- (1) 参加希望者は、定められた様式により、特別支援学校、施設または市町障がい者福祉担当課等を通じて申し込む。
- (2) 申込書の提出を受けた特別支援学校、施設または市町障がい者福祉担当課等は、記載事項に不備がないかを確認し、取りまとめ表を作成のうえ、平成29年4月14日（金）【必着】までに提出する。
- (3) 申し込み後の変更は、原則として認めない。

14 競技場への入退場

(1) 係員の指示に従うこと。

(2) 出場選手の介助等のため競技場内に入場できる者は、大会事務局が認めた介助者に限る。

15 健康・安全管理

健康・安全管理については、選手または申込者が十分注意すること。

主催者においては、大会当日の突発的な怪我や疾病についての応急の処置のみを行い、その後の責任は負わない。

16 参加費用

参加費は無料とする。

ただし、原則として食費・交通費等は参加者の負担とし、団体のバス利用補助については別途定める。

17 表彰

個人競技 種目の各組単位に、1位の選手にメダルを授与する。

団体競技 4×100mリレーおよびバレーボールの優勝チームに表彰状を授与する。

18 併催事業

セルフ商品の展示・即売会の事業を行う。

19 全国障害者スポーツ大会

本大会で実施する個人競技出場者の成績優秀者の中から、第17回全国障害者スポーツ大会「愛顔つなぐえひめ大会」(平成29年10月28日(土)～30日(月))の出場選手を選考する。ただし、精神障がい者については、選考の対象とはならない。

バレーボール(精神障がい者の部)の優勝チームについては、第18回全国障害者スポーツ大会北信越・東海ブロック予選会への出場資格を得る。

20 その他

この要綱に記載のない事項については、その都度大会事務局において決定する。